



# 社団法人 日本生物工学会



## 本学会が目指すもの

公益法人化への移行にともない、産学官が協力して世界のバイオテクノロジーをリードする学会として、産業を活性化させるバイオテクノロジーの発展、地球環境保護などに貢献していきます。そのために、最先端分野に限定せず、伝統技術分野のさらなる発展にも注力し、次世代を担う若者の育成も図ります。

### 1. 海外に関かれた学会を目指します

Journal of Bioscience and Bioengineering (JBB) 誌のプレゼンスを上げ、バイオテクノロジーにおける世界のメジャージャーナルを目指します。

- ・ よい論文を投稿していただけるよう会員のご協力をお願いします。
- ・ 醸造など学会が大切にしている分野の投稿も大歓迎です。

海外会員を増やしアジアをリードする学会になります。学会員がそれぞれの立場で推進しているアジア各国との交流をサポートできる学会を目指します。

- ・ アジア諸国の有力な科学者と積極的な国際交流を行い、アジアにおけるバイオテクノロジー分野の協調発展を図ります。

### 2. すべての会員へのサービス向上に努めます

学会運営や各種企画の立案に若手会員の意見を反映します。本部主催の生物工学シンポジウムなどを再編し、外国人研究者の参加も含めたシンポジウムなどを新設します。また、和文誌やホームページ等を通じて情報発信のチャンスを増やします。

産業界との連携・協力を推進、サポートいたします。

- ・ 和文誌などを通じ、企業の activity を社会に伝えるチャンスを増やします。

産学連携委員会を設置し、産業界の意見を学会活動に反映させます。産学におけるニーズとシーズの循環を活性化し、効率的なイノベーション創出を推進します。

### 3. 豊かな社会を築くため、生物工学分野において社会に貢献します

生物工学への広い理解と関心の拡大に努めます。

- ・ 一般市民や高校生等を対象として公開シンポジウムや実験講座を開催し、社会で話題になっている生物工学関連のテーマをわかりやすく解説したり、実験を通して、理解・関心を深めてもらうなどの取り組みを推進します。

地方自治体の環境問題の解決への取り組みを支援します。

男女共同参画を進めます。